

電波時計について

電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

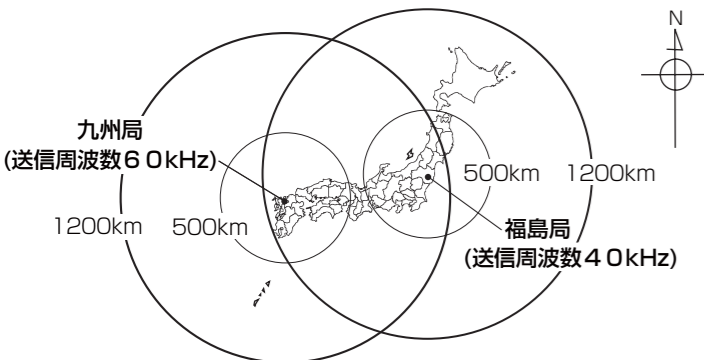
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jij.nict.go.jp)

受信可能な範囲

送信所からおよそ約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



○この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

○日本以外の標準電波は受信できません。海外で使った場合、まれに日本の標準電波を受信して、日本の時刻を表示したり、誤った時刻を表示することがありますので、電波受信スイッチをOFFにしてください。

○送信所の定期点検や落雷などにより、標準電波の送信が止まる場合があります。

ご使用場所について

電波の受信しやすいところでご使用ください。

この時計は標準電波を受信することにより、時刻を修正しますので、電波の受信しやすい部屋の窓際などでお使いください。

電波を受信しにくい環境について

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。



ご使用場所の注意

下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃(50度)以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃(氷点下10度)以下になる所。プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。
- 浴室など、湿気の多い所。
- ほこりが多く発生する所。空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まる場合があります。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まる場合があります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

ご使用上の注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告 この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意 この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

禁止 この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
強制 この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告 小さな部品や電池を、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

分解禁止 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

注意 時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

アルカリ電池について

- 電池からもれた液が目に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池一般について

- 電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。
- +(プラス)、-(マイナス)を逆に入れないでください。
 - 指定された新しい電池を使用してください。
 - 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池の混用をしないでください。
 - 使い切った電池は速やかに取り出してください。
 - 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
 - 電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落としてから入れてください。

液晶について

表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸で洗い流してください。目や口に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、直ちに、医師の治療を受けてください。

お手入れについて

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落しに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 時計を掛けたとき、静電気により時計および壁面が汚れることがありますので定期的に掃除をしてください。

4. 電池交換時期のお知らせ

電池の交換時期になると、マークが表示されます。このマークが表示されたら、お早めに電池を交換してください。

電池からの液もれに注意

時計が止まった状態で、電池を入れたままにすると、電池からの液もれにより、時計や家具などに損傷を与えます。表示が薄くなったリ、時計が止まったら電池を取り出すか、電池を新しいものに交換してください。

5. 静電気による誤作動

静電気により、誤作動し正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。プログラム内容を修正できないときは、時刻合わせと強制受信ボタンを両方押しながらリセットボタンを押してください。工場出荷時の設定に戻ります。

おもな製品仕様

時間精度	●標準電波の受信に成功している場合(受信直後) 表示精度 ±1秒以内 ●標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒(常温中のクォーツ精度)
使用温度範囲	-10~+50℃(液晶表示判読可能温度範囲0~+40℃)
使用電池	単2形アルカリ乾電池(JIS規格LR14) 2個
電池寿命	約1年間(報時およびチャイム使用状態により変動します)
標準電波	標準電波受信による時刻修正 福島局/九州局自動選択 自動電波受信回数 1日8回 標準電波受信 ON/OFF切替 カレンダー 2007~2099年 西暦、月、日 時刻表示 12時間制
その他	報時、チャイム機能 報時精度 表示時刻に対して±0秒 毎正時報時 時刻に対応した数だけ「ボン」を鳴らす プログラムチャイム 設定した時刻、曜日ノウェストミンスターを鳴らす プログラム数 12チャンネル 報時およびチャイム音モニター機能 音量調節 明暗センサー 暗所で自動消音(常時ON/OFF切り替え可能) 温度 -9.9~+50℃±2℃ 湿度 20~95%±10%(湿度が5~50℃のとき) 電池の交換時期お知らせ機能

○付属の電池は工場出荷時に入れていますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。
○液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して表示が見にくくなる場合があります。

○0~40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。
○製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品
単2形アルカリ乾電池 2個 木ねじ 1個 取扱説明書 本書 保証書 1枚
報時・チャイム設定ガイド 1枚

CITIZEN®

電波時計(デジタルプログラムチャイム掛/置兼用時計)取扱説明書

取扱説明書番号 D013-CXXZ

～ 製品の特長 ～

標準電波を受信して正しい時刻に修正

曜日と時刻を設定できるプログラムチャイム

毎正時に「ボン」の数で時刻をお知らせします

温度と湿度を表示します

電池の交換時期をお知らせします

ご購入ありがとうございます。

○ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

○この取扱説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

発売元 リズム時計工業株式会社

本社 ☎330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品(電子回路、歯車等)は製造打ち切り後、7年間で基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース・文字板等)の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。または現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。(保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。)

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

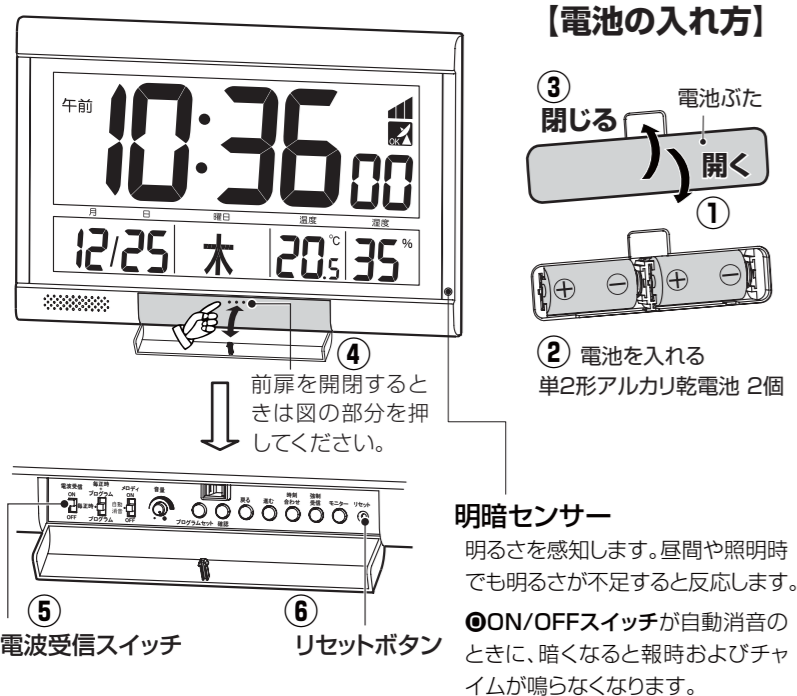
お問い合わせ先

■お客様相談室 フリーダイヤル☎0120-557-005

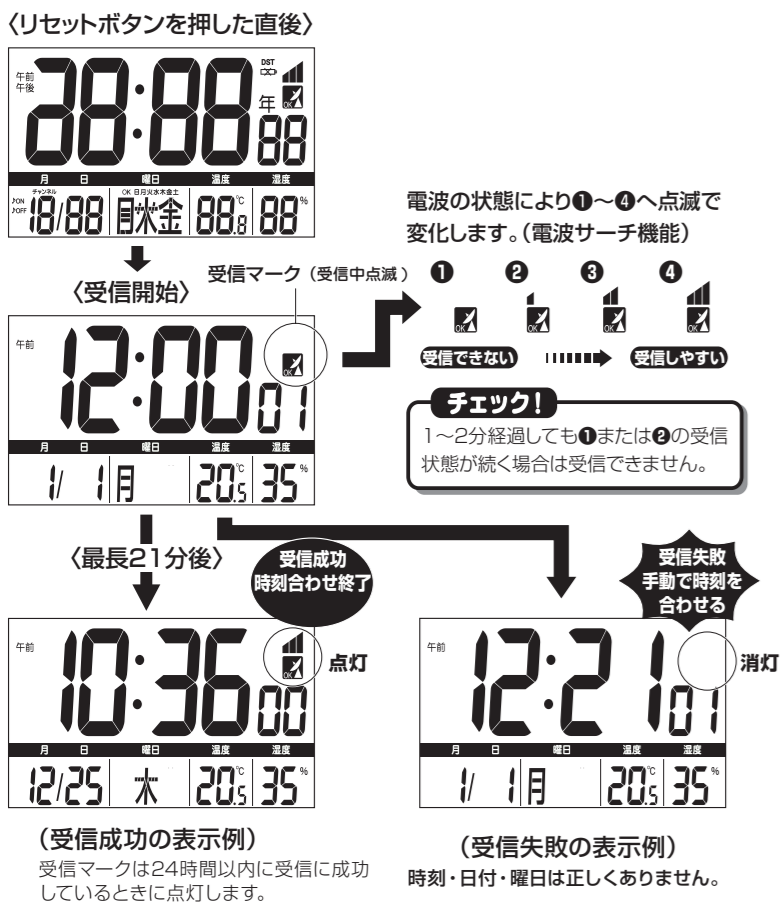
受付時間 9:00~17:00
(土日、祝日および当社休日を除く)

1. 時刻の合わせ方 (はじめてお使いになるとき)

図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



【受信の流れと表示】



アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。
電池を入れ替えたときもリセットボタンを押し、窓際などで電波の受信をさせてください。

- 裏面の電池ぶたを取り外す
- 電池を入れる
電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる。
電池の向きを逆にすると発熱、破裂の危険や液もれの原因になります。
- 電池ぶたを取り付ける
- 前扉を開ける
- 電波受信スイッチをONにする
- リセットボタンをボールペンの先などで押し
リセットボタンを押すと受信を開始します。
- 前扉を閉じる
標準電波の受信には最長21分程度かかりますので、電波の受信しやすい窓際などにおいてください。
- 受信結果を確認する
「受信の流れと表示」参照
受信マークが点灯：受信に成功
「3. 報時・プログラムチャイムの使い方」へ進む
受信マークが消灯：受信に失敗
「電波を受信できない場合」へ進む

▶電波受信スイッチ

電波受信スイッチをONにすると定期的に標準電波を受信し、受信に成功すると時刻およびカレンダーを自動的に修正します。
手動で時刻合わせをして使用するときは、OFFにしてください。

▶強制受信とリセット操作

- 強制受信は、場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。
※手動で時刻合わせをしているときは強制受信操作はできません。
- リセットボタンは、電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2007年1月1日午前12:00に初期化されます。リセットボタンを押してもプログラム設定した内容は保護されます。

▶温度・湿度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。
測定範囲を超えた場合の表示
温度：「HH.H」50℃より高温「LL.L」-9.9℃より低温
湿度：「HH」95%を超えた「LL」20%未満
湿度は温度が5℃未満または50℃を超えると「--」表示になります。
※本製品は室内用ですので、室内の温度・湿度の計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度・湿度管理を行う用途には適していません。

2. 時計の設置

◆朝までそのまましておく

一般に夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておく
と受信できる可能性が高くなります。手動で時刻を合わせて1~2日様子を見てください。

◆場所を変える/受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所(取扱説明書の日本地図を参考)に、なるべく時計の正面または裏面が向くように設置し、リセットボタンを押ししてください。

◆手動で時刻を合わせて使用する

電波を受信できない場所でご使用になるときは、手動で時刻合わせをしてください。手動で時刻合わせをすると時間精度はクオーツ精度になります。手動で時刻を合わせて使用する場合は、誤受信を防止するために電波受信スイッチを「OFF」にして使用することをお勧めします。

●手動での時刻の合わせ方

時刻合わせボタン 下の操作例を参考にして、カレンダーおよび時刻を合わせてください。
戻る または進むボタンを押してすぐ離すと1つ単位で戻ったり進んだりします。
戻るボタン 進むボタン
戻る または進むボタンを押し続けると速く数値が変わります。

操作例 西暦2008年12月25日 午前10時36分に合わせる



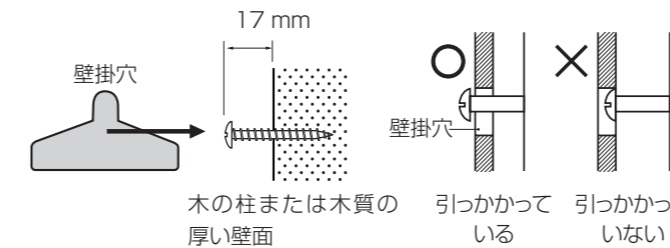
- 曜日 は自動的に設定されます。
- 電波受信スイッチが「ON」のときは、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると時刻・カレンダーを修正します。
- 約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている日付・時刻が設定され時刻表示になります。

3. 報時・プログラムチャイムの使い方

掛ける

掛時計としてご使用になるときは、確実に掛けてください。時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。
時計を掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

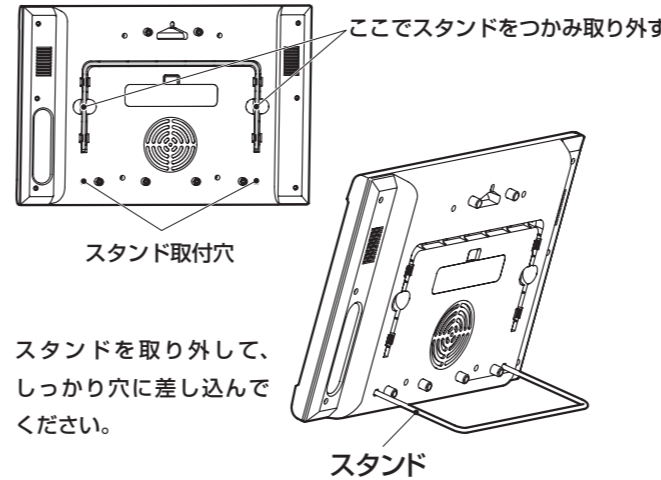


- 上記以外の場所(石膏ボード、コンクリートなどの壁面)に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

- 掛けた状態で時刻合わせやプログラム設定などの操作をすると、落下する恐れがありますので、時計を取り外してから操作をしてください。

置く

置時計としてご使用になるときは、スタンドを図のよう
にしてください。
※水平で振動などが少ない安定したところに設置してください。



- 無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、曲がったりすることがあります。
- スタンドをハンドル代わりにして持ち運びすると抜けることがありますので、持ち運びに利用しないでください。

3. 報時・プログラムチャイムの使い方

3つの鳴らし方から選択できます。

1. 毎正時に鳴らす報時

「ボーン」という電子音により、10時、11時、12時といった正時に対応した数の音でお知らせします。

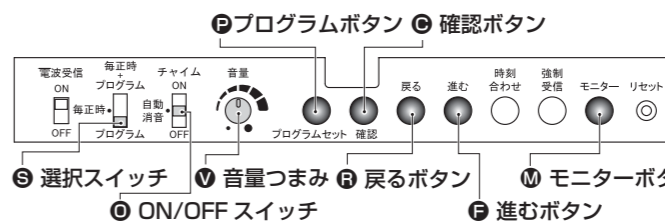
2. 曜日と時刻を指定するプログラムチャイム

オフィス・工場・学習塾などで始業や終業などをウエストミンスターチャイムで案内することができます。
曜日とチャイム時刻の組み合わせを1チャンネルとして12チャンネル使用できます。

3. 報時とプログラムチャイムを使用

報時音とチャイムで時刻をお知らせします。報時とチャイムが重なった場合はチャイム音が鳴ります。

- 報時およびプログラムチャイムをご使用になるときは、現在時刻とカレンダーが正しいことを確認してください。
- 標準電波を受信できない場合は、手動で現在時刻およびカレンダーを合わせてください。



- 1) 報時、プログラムチャイムの使用設定... ① ON/OFF スイッチ
OFF : 鳴りません。
自動消音 : 暗くなると鳴りません。一般的な設定です。
ON : 暗くなくても鳴ります。
報時とプログラムチャイムを個別に設定することはできません。

- 2) 報時、プログラムチャイムの選択... ② 選択スイッチ
プログラム : プログラムチャイムのみ使用
毎正時 : 報時のみ使用
毎正時+プログラム : 報時とプログラムチャイムの両方を使用

- 3) 報時、プログラムチャイムの音量調節... ③ 音量つまみ
④ モニターボタンを押し、鳴っている間に調節します。

- 4) 報時またはプログラムチャイムの試験... ⑤ モニターボタン
⑥ 選択スイッチと⑦ ON/OFF スイッチの設定に従います。選択スイッチが「報時+プログラム」のときは、演奏が終わってからモニターボタンを押すと、報時音とチャイム音が切り替わります。注)
※電波の受信中や演奏中はモニターボタンを押しても機能しません。
※報時音は表示時刻に対応した数の音が鳴ります。
注) 演奏中にモニターボタンを押すと音が切り替わりません。

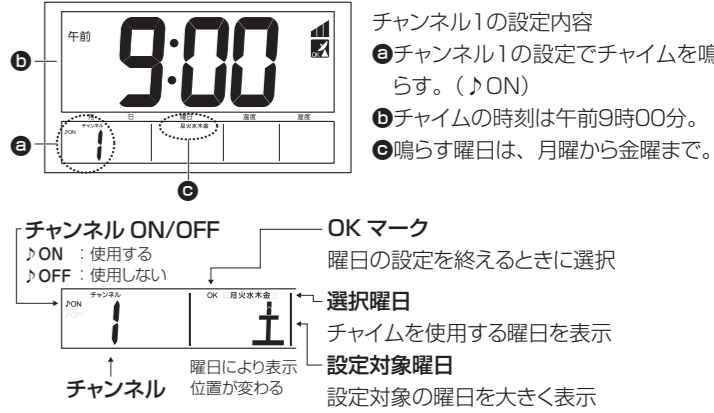
- 5) プログラムチャンネルの設定内容を確認する... ⑧ 確認ボタン
⑨ 確認ボタンを押してください。約5秒間設定内容が表示されます。設定内容が表示されている間に、戻るまたは進むボタンを押すとチャンネルを切り替えることができます。
設定内容を表示しているとき、
⑩ 確認ボタンを押す... 現在時刻の表示に戻る
⑪ プログラムボタンを約3秒間押す... プログラムチャイムの設定へ

プログラム内容の保護

プログラム内容は、リセットボタン操作や電池交換作業を行っても保護されます。
※静電気などの影響によりプログラム内容が失われることがありますので、設定内容をメモしておいてください。
※プログラム設定内容を工場出荷時に戻すには、時刻合わせと強制受信ボタンの両方押ししながらリセットボタンを押してください。

プログラムチャイムの設定手順

<プログラムチャイム設定例>
チャンネル1に冬の始業時刻、チャンネル2に夏の始業時刻を設定しています。



下記の説明図はチャンネル2の例です。

設定の流れ	操作
① 設定モードにする	① プログラムボタンを約2秒間押し続ける → チャンネルが点滅する
② チャンネル選択	① 戻るまたは進むボタンを押して選択ボタンを押し続けると速く変わります。 ② プログラムボタンを押して確定する → ♪ONまたは♪OFFが点滅
③ ON/OFF設定	① 戻るまたは進むボタンを押して♪ONまたは♪OFFを選択 ② プログラムボタンを押して確定 → チャイム時刻の「時」が点滅 ※♪OFFにすると、このチャンネルで設定した条件でチャイムは鳴りません。
④ チャイム時刻設定	① 戻るまたは進むボタンを押して「時」を合わせる ※午前/午後の表示に注意。 ② プログラムボタンを押して確定 → チャイム時刻の「分」が点滅 ③ 戻るまたは進むボタンを押して「分」を合わせる ④ プログラムボタンを押して確定 → 「OK」マーク点滅
⑤ 対象曜日選択	① 戻るまたは進むボタンを押して曜日を 選択 → 設定する曜日が ⑥ に大きく表示 ② プログラムボタンを押す 押すたびに ⑦ の曜日が [消灯→点滅] / [点滅→消灯] ⑧ の曜日が点滅または点灯している 曜日にチャイムが鳴る。 ●曜日の設定を続けるときには①へ ●終了するときには戻るまたは進むボタンを押して、「OK」を選択してからプログラムボタンを押してください。 → 現在時刻の表示に戻る
⑥ 対象曜日選択	チャイムを鳴らす曜日を表示 ⑧ 月曜日~金曜日に鳴らす (消灯している曜日は鳴らない) 設定する曜日を大きく表示 ⑨
OK マーク	曜日選択を終えるときに選ぶ

複数のチャンネルを設定するときは、上記の手順を繰り返してください。
●操作を約30秒中断すると設定を保存して終了します。